



地域とのつながりの大切さ …

台風15号による千葉県内は住民被害数4,000戸にとどまらない状況のうえ、更に県内では停電を余儀なくされ、復旧には1週間以上も要している。毎日テレビのニュースでは、熱中症で亡くなる悲しいニュースも入ってくる。こうした被害が、いつ自分たちの住む町に起こるか予測がたたない。

私たちの住む町はどうであろうか？

つつじヶ丘周辺の地域の高齢化率は21.6%、要介護認定者も1,153人と年々増加傾向にある。そして、核家族化で同居率は低下し、

独居高齢者や高齢夫婦のみ世帯が主で、介護においても老老介護、

認認介護といった状況にある。加えて、隣近所との付き合いも普段からないため、災害時の避難活動も困難状況であることは容易に察しがつく。

また、引きごもり気味の高齢者は避難場所さえ理解できていないのが実情である。

エレベーターがない団地やアパート等に住む高齢者や身体障害者の方は、地域の人たちの助けが必要な状況であるが、子育て世代の若い夫婦が引っ越してきても地域活動に参加しないため、自治会自体も縮小傾向にある。

「喉元過ぎれば熱さを忘れる…、災害が自分たちの身に降りかからないと他人事のように思えるが、「地域で支え合う」とは…普段から何が必要で、何を備えておけばよいのだろうか。

ある地域の自治会は自分たちの手で、地域を守っていこうという意識が高く、自治会長を中心に地域で理解し合い、自分たちの地域にはどのような家族が住んでいるか等の情報が把握できる名簿がある。これは、個人情報云々よりも災害時や地域の見守り活動を最優先した、地域

ぐるみのあり方である。子どもから大人、高齢者の方々を巻き込んでの大規模防災・避難訓練も積極的に取り入れ、実施してきている。このようにいざという時の備えとして、日ごろから自治会活動を大事にし、自治会の活動や秋祭りなど、イベントの企画や恒例行事を実施することで、地域住民が楽しく地域づくりをしている。

地域の高齢者が介護等で困っていれば地域包括支援センターへ連絡を入れ、すぐに対応する等の連携も図れている。

こうした普段からの地域づくりが大切であると思われる。





私たち まだまだ
元気に頑張ります！



今日はこんなに
祝ってもらい
ありがとうございました

敬老会



わあ~どれも
美味しそうね~



まだまだ
若者には
負けないぞ~



今回 木曽路で特別メニューを
ご用意していただきました！



美味しくて
全部きれいに
いただきました~



これ全部
食べきれん
かしら…？



祝 85歳

誕生日
おめでとう
ございます

一期一会
感謝

おもしろい…

寂しさを感じたら
誰かに声をかけよう
苦しみに出会ったら
ひたすら耐えていこう
優しさに出会ったら
喜びを分けてあげよう
だから 人生は
おもしろい…



祝 93歳

地域包括支援センターゆあい 広報協力員のみなさまが 「ケアホーム希望」の施設見学に！



調布市で在宅生活を送る高齢者やその
家族に対して、調布市より委嘱を受け
て地域包括支援センターの案内や紹介
および広報活動を行ってくださる広報
協力員のみなさまに「ケアホーム希望」
のサービスについて説明、施設見学を
していただきました。

